

第8回市民活動ワークショップ 実施報告

開催日時	平成22年8月19日(木) 18:35~20:30
開催場所	武蔵野スイングビル10階 スカイルーム1, 2, 3
参加者構成	市民: 32名(公募) アドバイザー: 高山和久(東京ボランティア・市民活動センター統括主任) 事務局: 8名(武蔵野プレイス開設準備室)
次第	開会 1. 報告事項 (1) ニュースレター第5号発行について (2) 「ワークショップのまとめ(報告書)」の作成について 2. 検討事項 (1) フロア運営への市民参加について (2) これまでの議論の整理について (3) グループワーク「キャッチフレーズづくり」 3. 事務連絡 閉会
配布資料	資料1 次第 資料2 「プレイスニュース」第2号 資料3 「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」ブックレット 資料4 「市民活動フロアを考える市民ワークショップだより」(第4号) 資料5 これまでの議論の整理(案) 資料6 第8回市民ワークショップワークシート 資料7 第9回、第10回ワークショップ 今後の開催予定について 資料8 第7回市民活動ワークショップ 実施報告

概要

次第1：報告事項

〔内 容〕：実行準備会および事務局からの報告

〔資 料〕：資料2

資料3

資料4

〔概 要〕：

(1) ニュースレター第5号発行について（実行準備会の編集担当者より報告）

※「ワークショップ実行準備会」とは、毎回のワークショップの準備作業等を行うことを目的として、ワークショップ参加者中の有志で構成する会。

(2) ワークショップのまとめ（報告書）作成について（実行準備会より報告）

7月28日（水）開催のワークショップ実行準備会で、報告書の章立ておよび担当分担を決定したことを報告した。なお報告書の章立て案と執筆分担は下記のとおり。

(3) その他

「武蔵野プレイスブックレット」が発行されたこと、及び「プレイスニュース」第2号が発行されたことについて、事務局から説明した。

次第2：検討事項

(1) フロア運営への市民参加について

〔内 容〕：実行準備会からの提案

〔概 要〕：

実行準備会からワークショップ参加者に対して下記の提案があり、了承された。

【提案内容】

利用者が施設運営に積極的に参画するために、武蔵野プレイスの各機能又は全館単位で、利用者や施設運営者等が協議会を設置することが予定されており、市民活動フロアに関しても、「市民活動フロア運営委員会（仮称）」を組織することとされている（「武蔵野プレイス管理運営指針」P25～26）。

運営に市民の声を反映するために、このような仕組みは重要であることを、ワークショップ参加者の皆で確認し、ワークショップのまとめ（報告書）にもその旨記載したい。

【備考】

「一部の人だけが施設運営に参画するのではなく、市民会館やコミセンの「利用者懇談会」のように、もっと多くの施設利用者が参加出来ると良い。」との意見があった。これについては、プレイスでも運営委員会の他に、利用者が誰でも参加できる場を考えても良いのではないかと意見が出された。

(2) これまでの議論の整理について

[内 容]: 事務局からの説明および提案

[資 料]: 資料5

[概 要]: ワークショップは、まとめの段階に入った。今後の議論に役立つように、事務局でこれまでの経過をまとめた資料を作成した。事務局からその資料の説明をし、内容についても参加者の同意を得た。

(3) グループワーク「キャッチフレーズづくり」

[内 容]: ワークシートを使用したグループワークの実施。

[資 料]: 資料6

[概 要]:

① 検討テーマ

「ワークショップからのメッセージ～キャッチフレーズづくり～」をテーマとした。

ワークショップに参加した市民の想いを込めたキャッチフレーズを作成し、最終的には全体で一つのキャッチフレーズをつくることを目指す。

② アクティビティ

(i) 目的: 短いキャッチフレーズをつくる作業を通じて、市民活動フロアに関する根源的な話し合いをすること。

(ii) 方法: 4つのグループに分かれ、ワークシートを利用してキャッチフレーズを作成する。それをホワイトボードに板書し、各グループが発表する。

③ 発表内容の要旨

各グループの発表内容の要旨は次のとおり。なお、全体として一つのキーワードを作り上げるのは次回以降の予定。

【グループ1】

キャッチフレーズ案	キャッチフレーズに込めた思いなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ あるかも発見、あるかも出会い ・ 見つけることと出会うこと 	プレイスに求めることは、何かを発見できるということと、出会いがあるということ。それをキャッチフレーズ風にまとめた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行きます、参加します、発見します 	まずプレイスに「行く」。行った以上は何か「参加する」。そのことを通じて、自分は何者か、ということを知ると共にそこで新しい何かを「発見する」。こうしたプレイスでの一連のプロセスを表現した。
<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなこいこい 武蔵野プレイス 	キーワードは「発見」。新しいことを知る、そこからいろいろなことがイメージされ、新しい出会いにつながっていくということをもとめた。

【グループ2】

キャッチフレーズ案	キャッチフレーズに込めた思いなど
・ 市民活動と学びの融合	図書館機能、市民活動機能、生涯学習機能のダイナミックなつながりあいを考えた。
・ 情報キャッチボール	武蔵野プレイスの市民活動フロアは「居場所」として交流を紡ぎ出し、そこからさまざまな活動がらせんを描くように発展していくイメージ。その過程では市民活動だけでなく、図書館や青少年機能などと情報がやり取りされるはずで、その様を案のように表現した。
・ 市民活動 ひらく・見せる・むすぶ	市民同士、子ども、青少年を意識して考えた。

【グループ3】

キャッチフレーズ案	キャッチフレーズに込めた思いなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ つながる 広がる ・ 出会う つながる 広がる ・ 出会う つながる 広がる創造の場 武蔵野プレイス ・ あたたくつながる ・ 人がつながる武蔵野プレイス 	はじめに出てきたキーワードは「つながる」。そこから膨らませていくと、単に「つながる」ということだけでなく、「あたたかく」つながることの大切さや、フロア全体や、フロアを越えたつながりに「広がる」、そんな場であって欲しいとの思いを込めた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで育てよう 市民活動ひろば 	上をまとめる形で、「みんなでこの場を育てていく」という思いを込めた。

【グループ4】

キャッチフレーズ案	キャッチフレーズに込めた思いなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化創造の拠点 ・ 私たちの活動が 武蔵野の文化を創る 	武蔵野市では、他に先駆けて、自治の文化がつくられるなど、市民の文化が根づいてきた。もう一度、市民が文化をつくっていく拠点にしたい、という思いを込めた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 種をまいて、たがやす ・ 情報の森 ・ あらゆる立場にオープンな場所 	1人1人が活動の種を蒔き、活動を動を広げる。また、お互いにたがやし合いながら、そこから更に新しい武蔵野独自の文化をつくっていけるような場であって欲しいという思いを込めた。

次第4：事務連絡

次回日程：平成22年8月19日（木）18:30～20:30 武蔵野スイングビル10F スカイルーム

閉会

閉会后～ワークショップ実行準備会 打ち合わせ

参加者：市民8名、事務局3名、アドバイザー

- 内 容：① 市民活動フロアを考える 市民ワークショップだより」第5号の発行について
② 報告書について